

2012年度決算発表 【第69期】

2013年5月10日

 住友軽金属工業株式会社



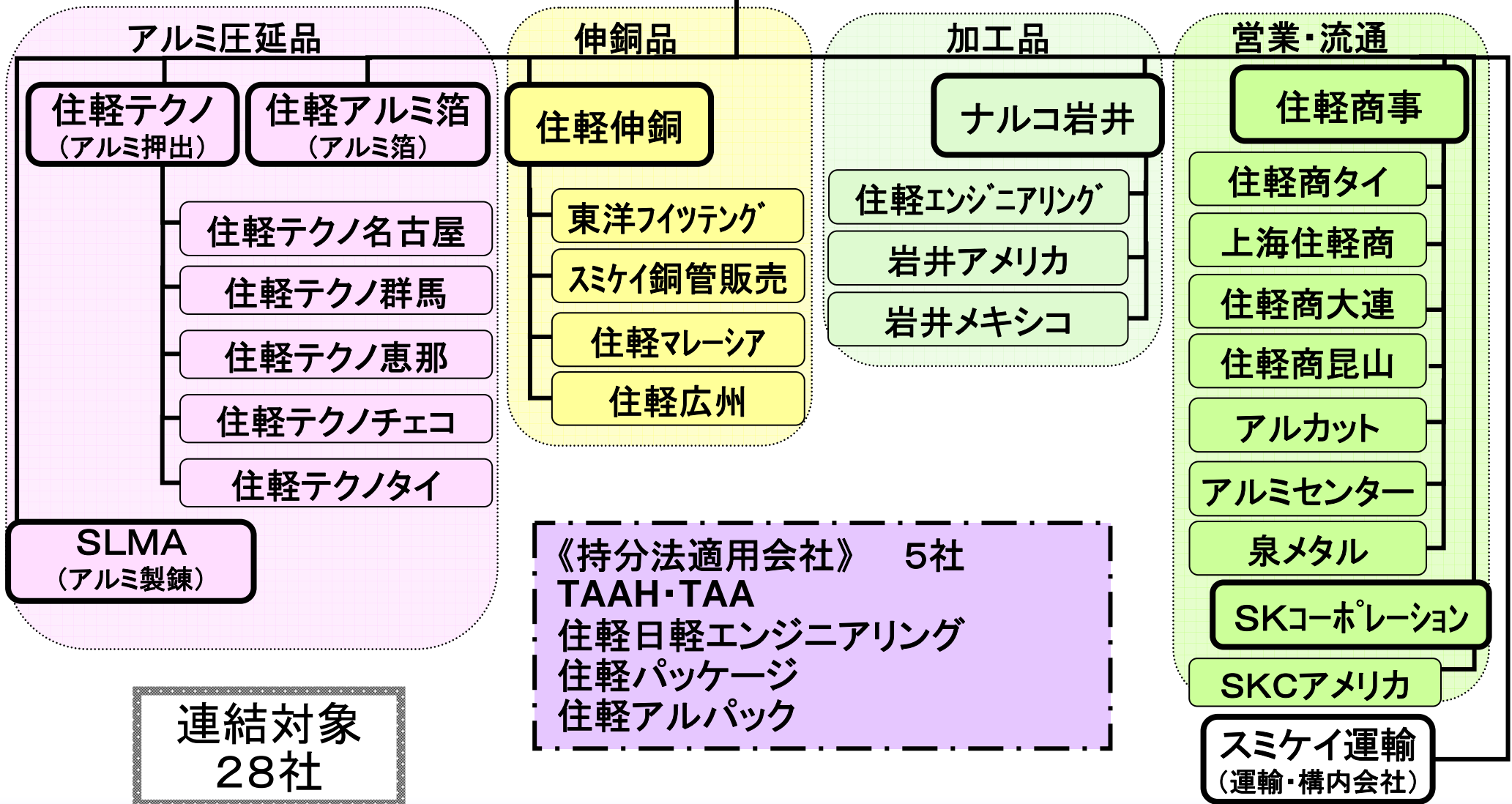
目次

1. 連結決算概要
2. 単体決算概要
3. 今期業績予想
4. 第四次中期経営計画の結果
(SUMIKEI VISION 2012)
5. 古河スカイとの経営統合

1. 連結決算概要

① 連結子会社

住友軽金属工業(アルミ板)



②当期のポイント（連結）

1. 経常利益：88億円、当期純利益：15億円

- ・秋以降の急速な世界的需要の落ち込みの影響等が大きく第4四半期に回復基調となるも経常利益は88億円にとどまる。
- ・投資有価証券評価損を43億円計上した結果当期純利益は15億円となる。

2. 年間配当 3.5円/株 を実施

- ・中間配当1.5円/株、期末配当2.0円/株(予定) を実施。

3. 財務体質の改善

- ・有利子負債を順調に削減。

③ セグメント別売上高・営業利益（連結）

（単位：億円）

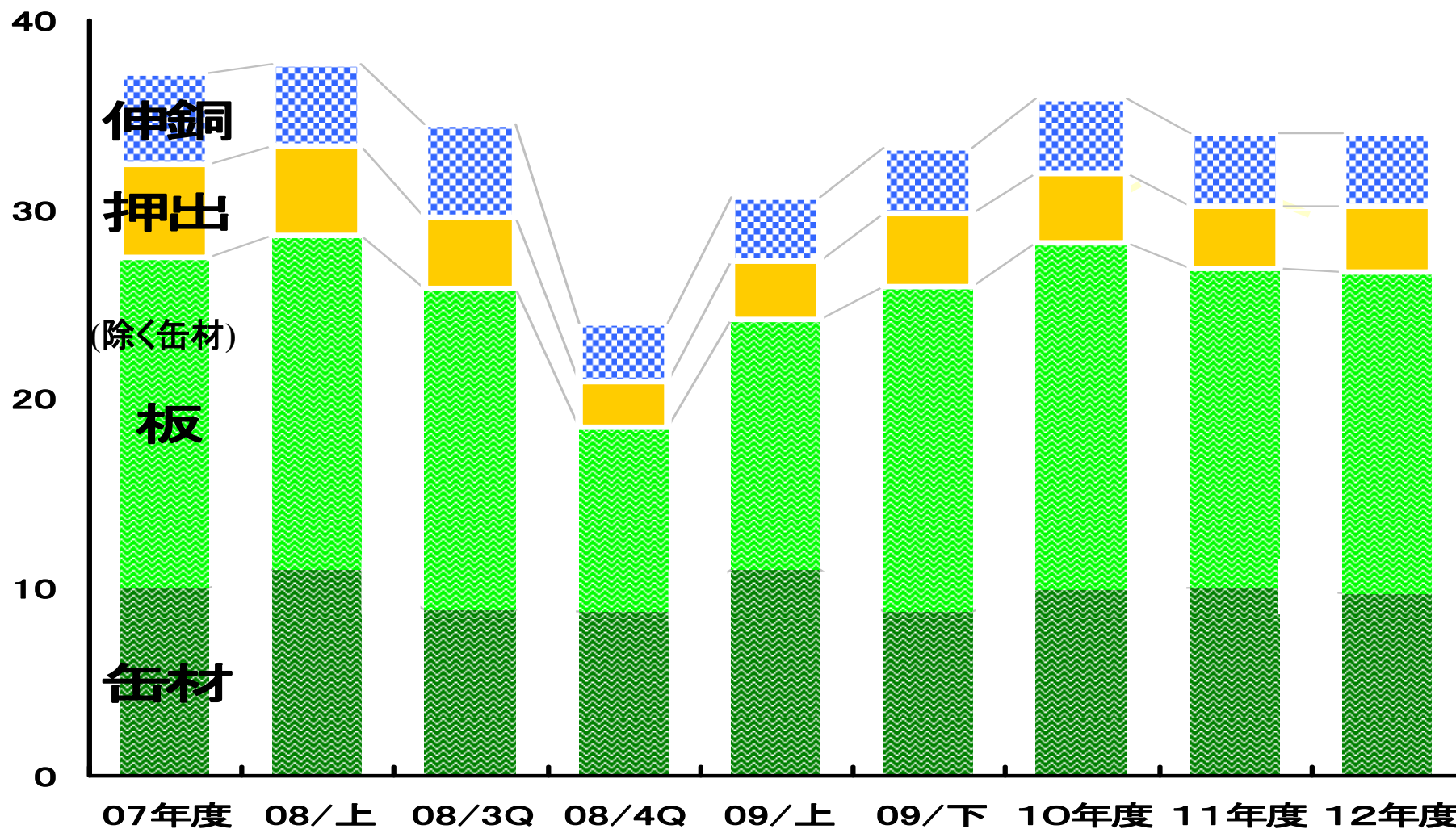
	11年度		12年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	1686	132	1637	103	△49	△29
伸銅品	504	14	511	17	7	3
加工品・関連事業	399	9	380	9	△19	0
調整	-	△32	-	△32	-	0
合計	2589	123	2528	97	△61	△26

※売上高対前年同期増減事由

数量構成差	地金価格差	為替レート差	新規連結	合計
△40	△62	30	11	△61

④品種別販売量推移

千ト/月



⑤ 連結損益

(単位：億円)

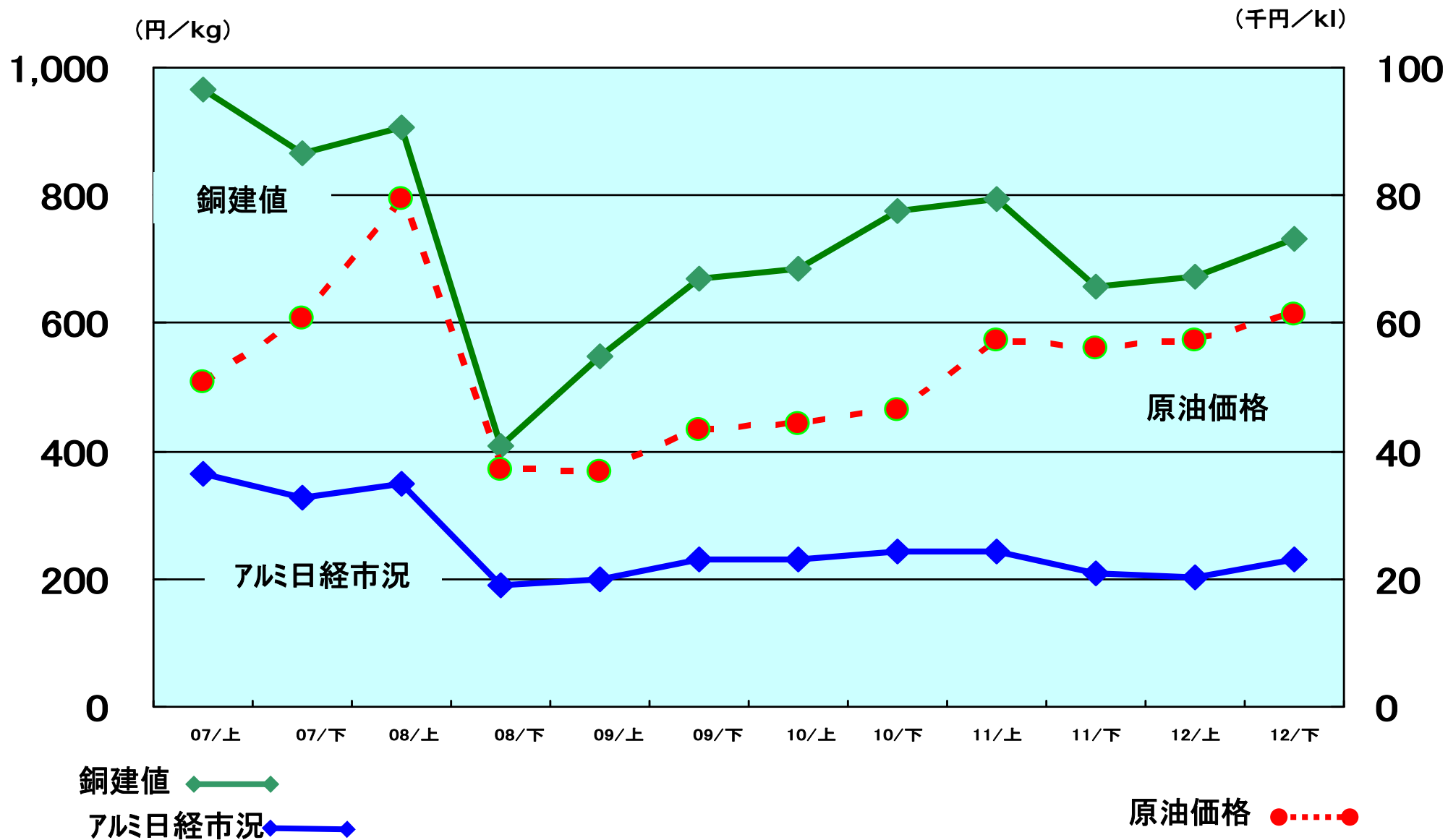
連 結	11年度	12年度	増 減	伸率%
売 上 高	2589	2528	△61	△2.4
営 業 利 益	123	97	△26	△21.2
経 常 利 益	102	88	△14	△13.7
当 期 純 利 益	83	15	△68	△81.8

設 備 投 資	52	69	17
減 価 償 却 費	92	81	△11

* 特別損益内訳(主要科目)

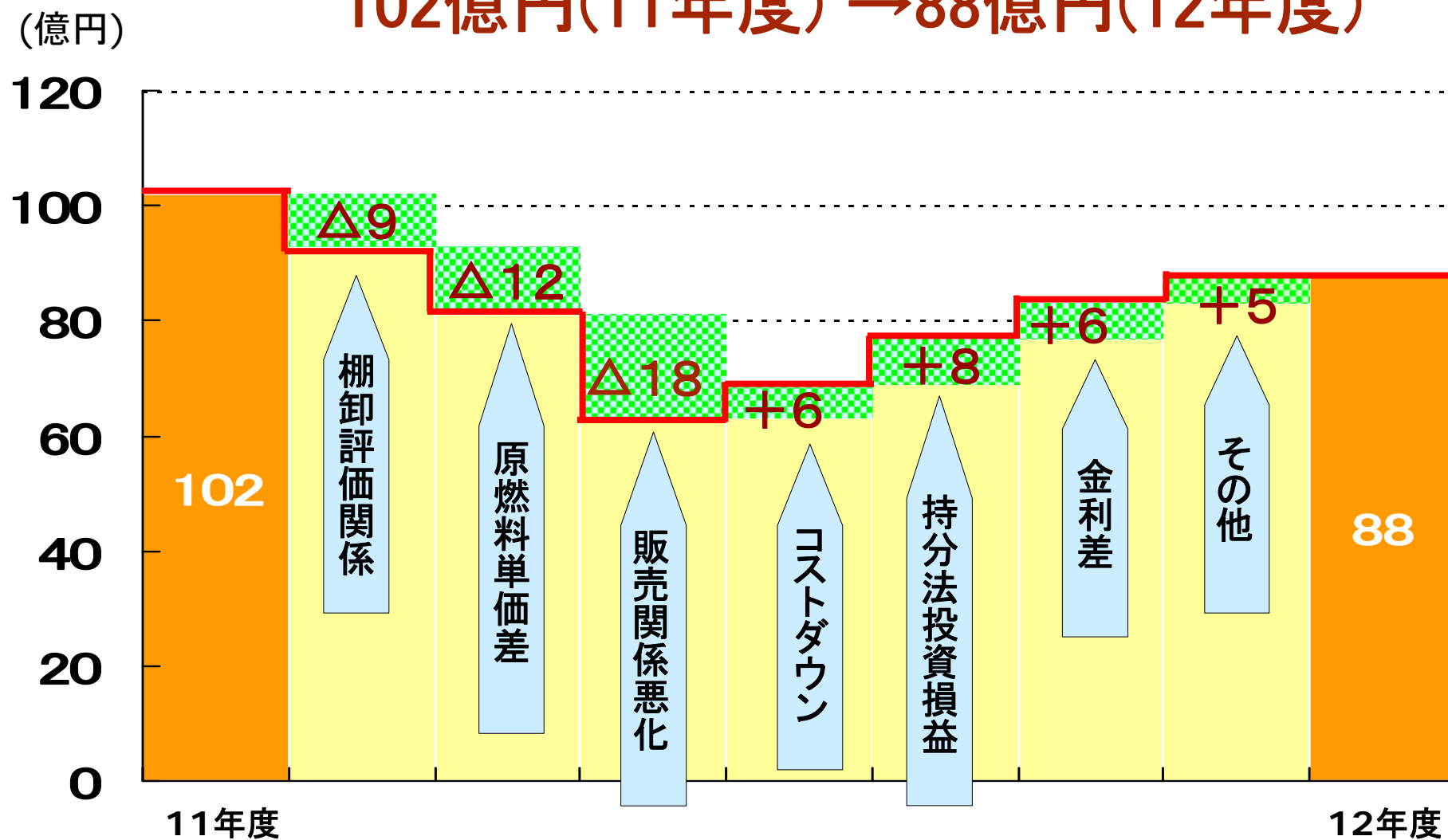
	11年度	12年度
投資有価証券売却益	12	—
投資有価証券評価損	△63	△43
減 損 損 失	△9	—

⑥アルミ・銅地金及び原油価格推移



⑦ 連結経常損益分析

102億円(11年度) → 88億円(12年度)



⑧ 連結B/S主要項目

(単位：億円)

連結	12年3月末	13年3月末	増減
株主資本	583	583	0
その他の 包括利益累計額他	△50	26	76
純資産	533	609	76
純資産比率	16.5%	19.1%	2.6%
総資産	3222	3184	△38
有利子負債	1546	1446	△100

⑨ 配当

〈配当方針〉

以下の事項を勘案しつつ配当額を決定する

- 安定した配当の継続実施
- 企業価値向上の為の投資資金確保
- 財務体質の強化

2012年度 年間配当

3.5円／株

(中間配当 1.5円／株
 期末配当 2.0円／株(予定))



2. 单体概要

① セグメント別販売量

(単位:千ト、億円)

	11年度		12年度		増減	
	数量	金額	数量	金額	数量 伸率%	金額
アルミ板事業	322	1191	321	1143	△1 △0.6%	△48
その他	—	206	—	165	—	△41
アルミ圧延品計	—	1397	—	1308	—	△89
伸銅品	(上期) 24	242	—	—	△24 △100.0%	△242
合計	—	1639	—	1308	—	△331
住軽テクノグループ°	39	286	41	272	2	△14
※住軽伸銅	(下期) 22	214	47	432	25	218

(※住軽伸銅 2011年10月分社化)

② 損益・B/S

(単位：億円)

	11年度	12年度	増減	伸率%
売上高	1639	1308	△331	△20.2
営業利益	83	64	△19	△22.9
経常利益	68	44	△24	△35.8
当期純利益	173	21	△152	△87.6

* 特別損益内訳(主要科目)

	11年度	12年度
関係会社受取配当金	40	—

	11年度	12年度	増減
純資産	516	529	13
純資産比率	20.5%	20.4%	△0.1%

3. 今期業績予想

〔2013年10月1日に古河スカイと合併を予定。
通期業績予想、期末配当は未定とさせていただきます。〕

① 今期業績見通しのポイント

**1. 第2四半期経常利益：42億円
四半期純利益：22億円**

- ・景気回復は期待されるが、需要環境は当面不透明。
- ・第2四半期の経常利益は42億円、四半期純利益は22億円にとどまる見込み

2. 中間配当：2.0円/株

- ・安定した配当を継続

3. 年間業績予想、期末配当は未定

- ・2013年10月1日古河スカイと合併を予定。
通期業績予想、期末配当は未定。

② セグメント別売上高・営業利益予想(連結)

(単位: 億円)

	12年度 上期		13年度 上期予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	832	64	807	48	△25	△16
伸銅品	279	13	275	10	△4	△3
加工品・関連事業	178	5	168	2	△10	△3
調整	-	△16	-	△16	-	0
合計	1289	66	1250	44	△39	△22

③連結損益予想

(単 位: 億円)

連結	12年度 上期実績	13年度 上期予想	増 減	伸率%
売 上 高	1289	1250	△39	△3.0
営 業 利 益	66	44	△22	△33.0
経 常 利 益	54	42	△12	△21.5
当 期 純 利 益	24	22	△2	△7.6

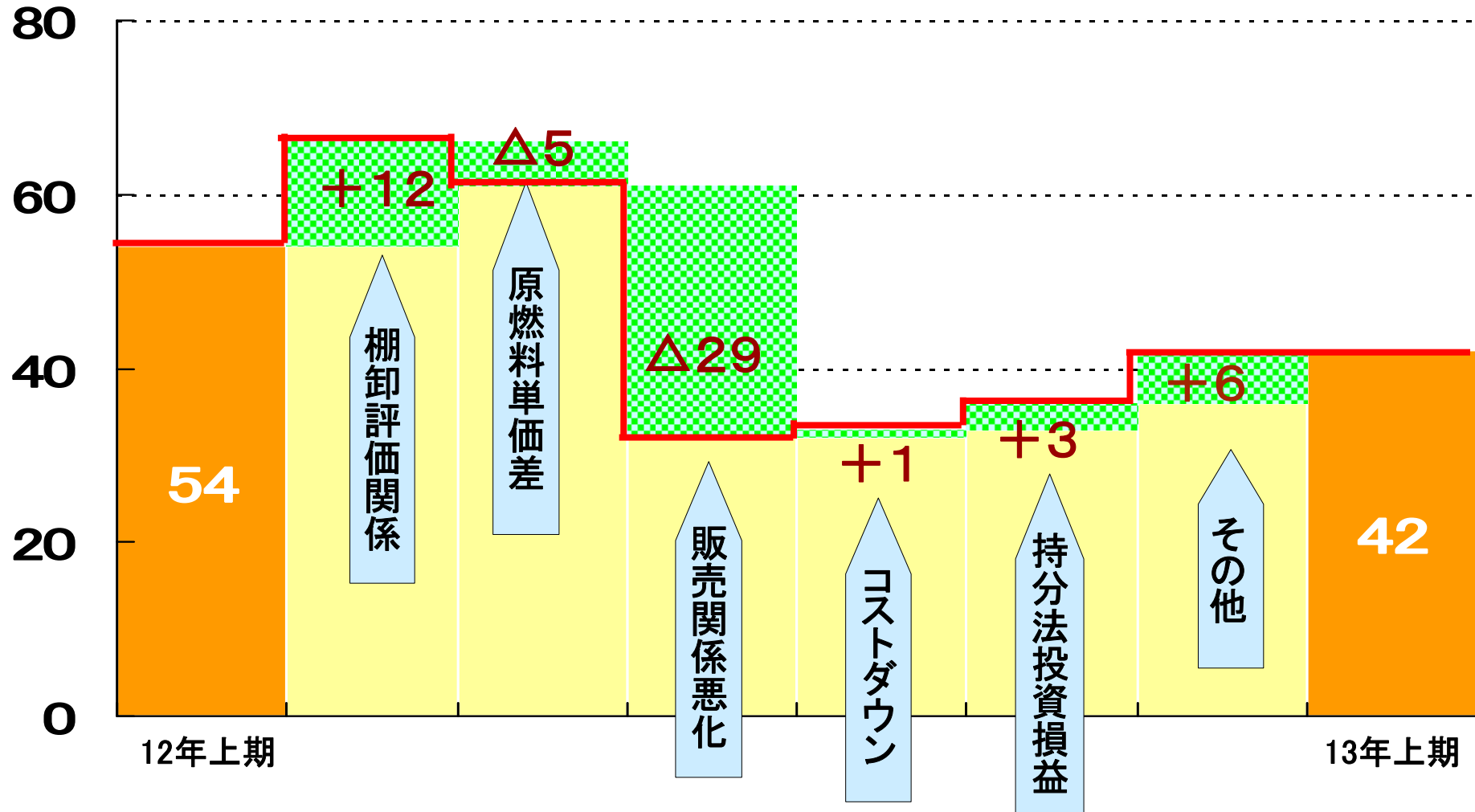
設 備 投 資	34	32	△2
減 価 償 却 費	40	41	1

* 前提諸元

アルミ日経市況	銅建値	為替	原油通関価格
244円/Kg	720円/Kg	98円/\$	108\$/バレル

④ 連結経常損益分析

(億円) 54億円 (12年上期) → 42億円 (13年上期予想)



⑤ 配当予想

〈配当方針〉

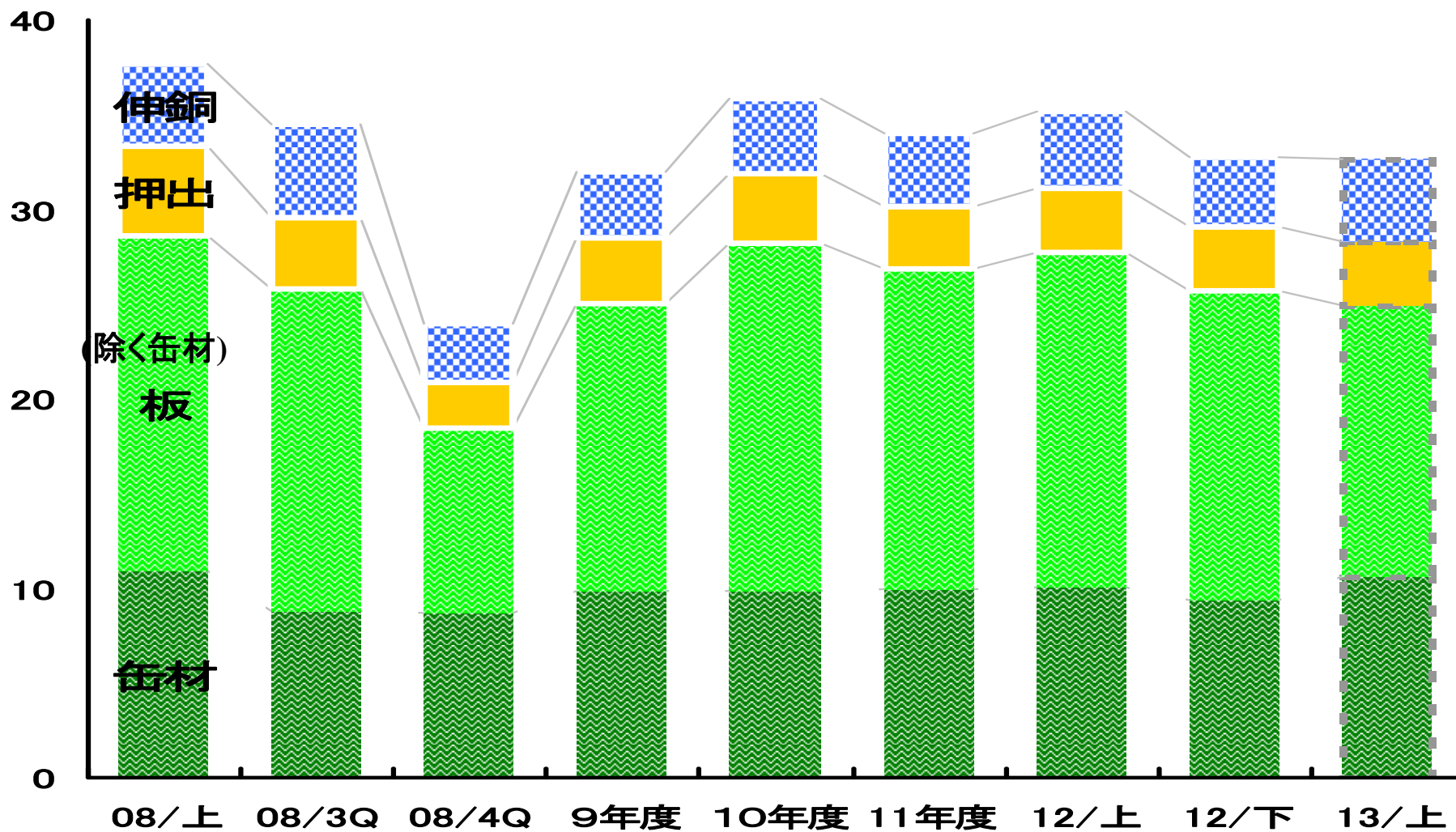
以下の事項を勘案しつつ配当額を決定する

- 安定した配当の継続実施
- 企業価値向上の為の投資資金確保
- 財務体質の強化

2013年度
中間配当 2.0円／株

⑥品種別販売量推移

千ト/月



⑦セグメント別販売計画量

(単 位:千ト、億円)

	12年上期		13年上期予想		増 減	
	数量	金額	数量	金額	数量 伸率%	金額
アルミ板	166	597	149	543	△17 △10.2%	△54
その他	—	88	—	97	—	9
アルミ圧延品計	—	685	—	640	—	△45
単 体 合 計	—	685	—	640	—	△45

住軽テクノグループ°	20	137	20	138
------------	----	-----	----	-----

住 軽 伸 銅	24	226	26	237
---------	----	-----	----	-----



4. 第四次中期経営計画 の結果 (SUMIKEI VISION 2012)

①環境認識

1 グローバルな成長市場の奪い合い

2 新規製品分野の成長

3 ユーザー海外展開のスピードアップと方針変化

4 海外メーカー、
特に中国／韓国軽圧メーカーの脅威の増大

②中長期的課題

『ありたい姿』

お客様にとっての

ベスト・グローバル・パートナー

『実現のための中長期的課題』

- 1 技術開発力の優位性の維持・強化(既存分野/新規製品分野)
- 2 品質・納期・技術サービス等による海外メーカーとの差別化
- 3 海外展開ユーザーへのグローバルな供給体制構築
(ローカルメーカーにも供給可能な競争力を確保した供給体制)
- 4 上記を含めた持続的成長投資が可能な安定的収益構造と
財務体質の実現

③ 基本方針

「守り」と「攻め」の両立へ

- 1 コスト構造改革と財務体質の早急な改善
- 2 成長戦略のビルトイン
- 3 技術開発力の更なる強化
- 4 コーポレートガバナンス、
コンプライアンス体制の強化
- 5 復配の早期実現

④数値目標と実績

第4次中期計画
「SV12」開始

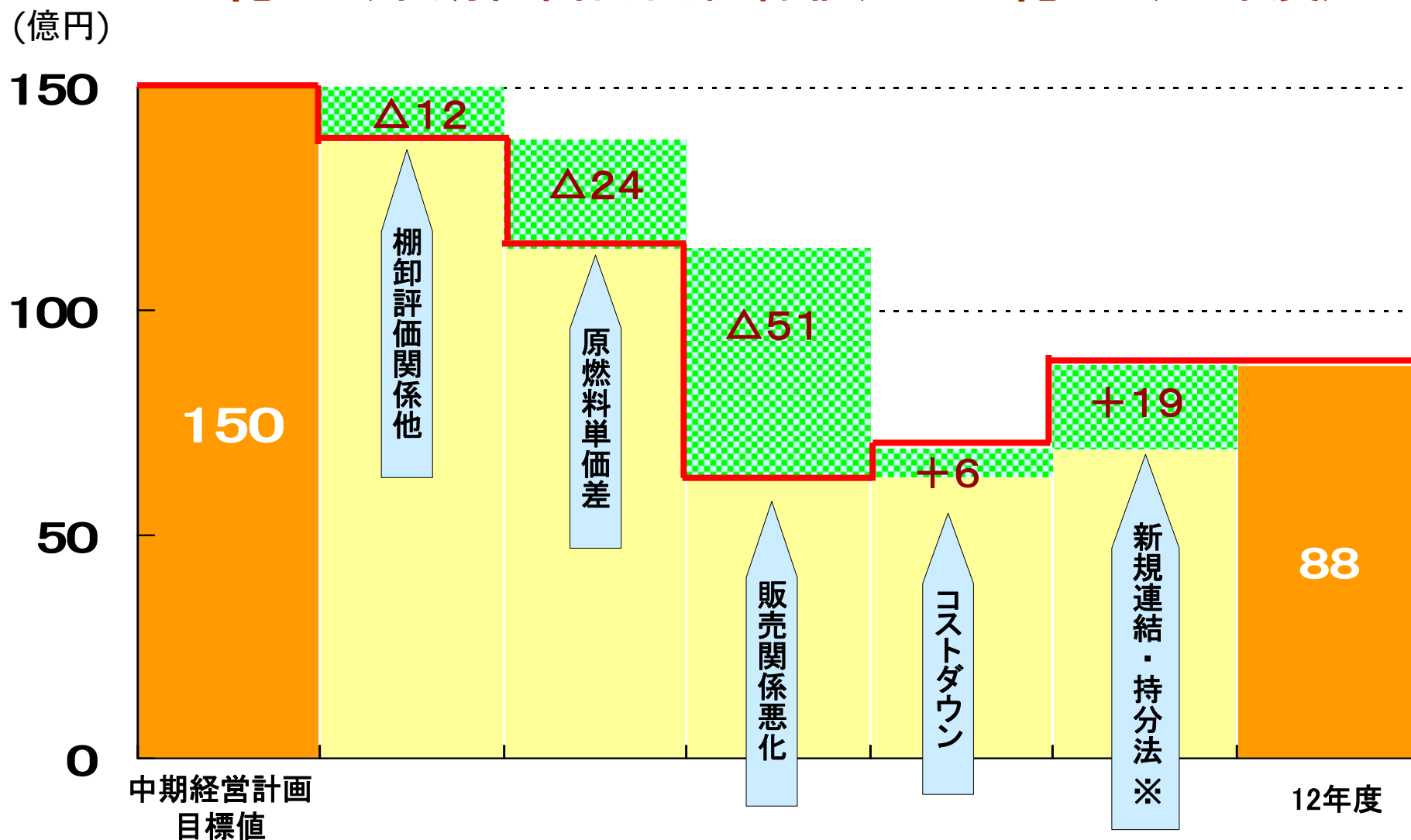
単位: 億円

連結	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績	2012年度 中計目標
売上高	3,276	2,782	2,335	2,595	2,589	2,528	2,600
営業利益	180	△77	52	156	123	97	190
経常利益	133	△143	30	115	102	88	150
ROA	5%	△2%	2%	5%	4%	3%	7%
有利子負債	1,966	2,058	1,792	1,652	1,546	1,446	1,450
純資産比率	15%	6%	9%	12%	17%	19%	20%
一般投資	82	92	57	39	45	45	
戦略投資	—	—	—	12	139	24	
計	82	92	57	51	184	69	250/3年間

3年間304億円 (リースを含む)
※内110億円は公募増資により調達

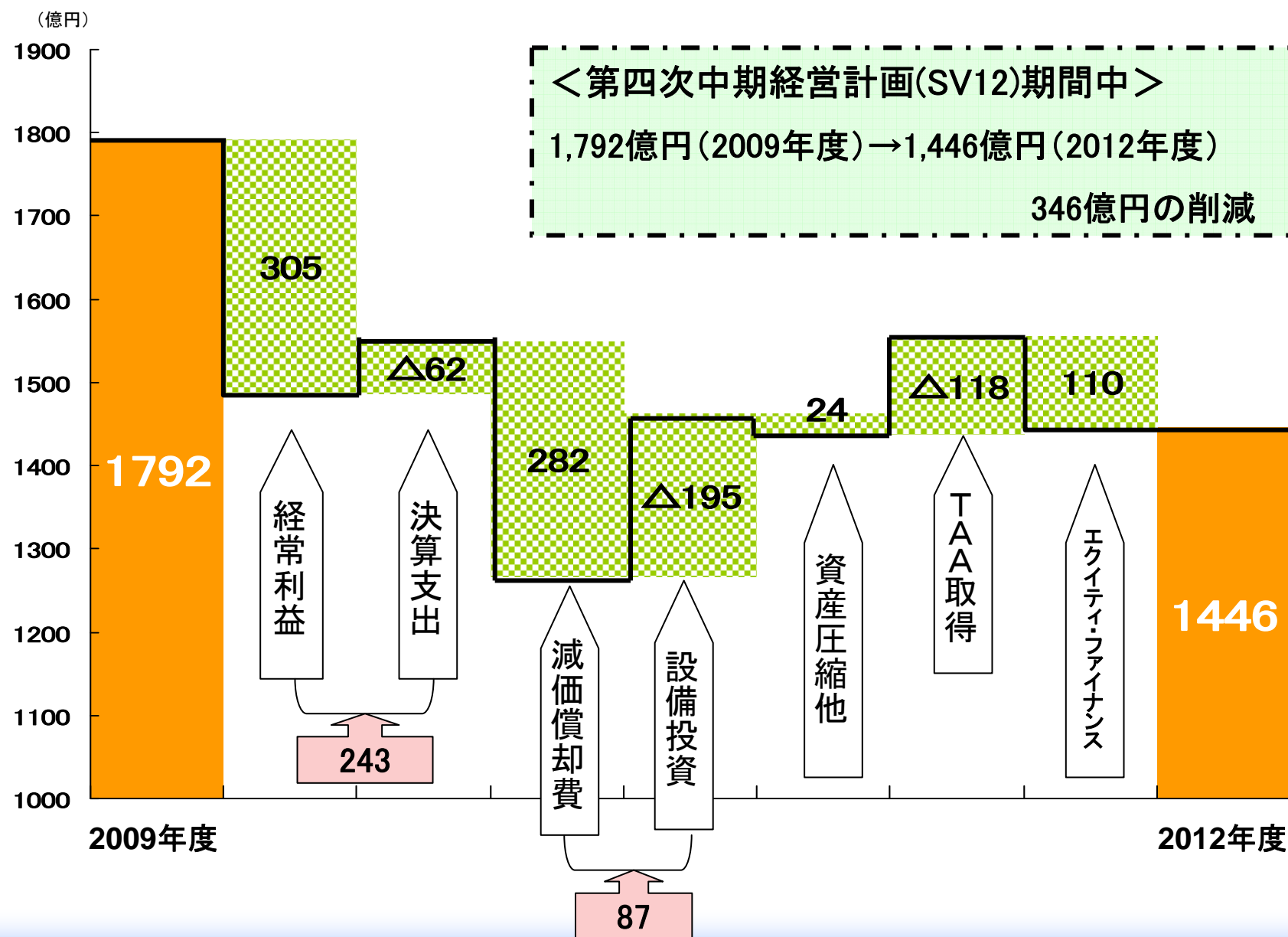
⑤ 連結経常損益分析

150億円 (中期経営計画目標値) → 88億円 (12年度)

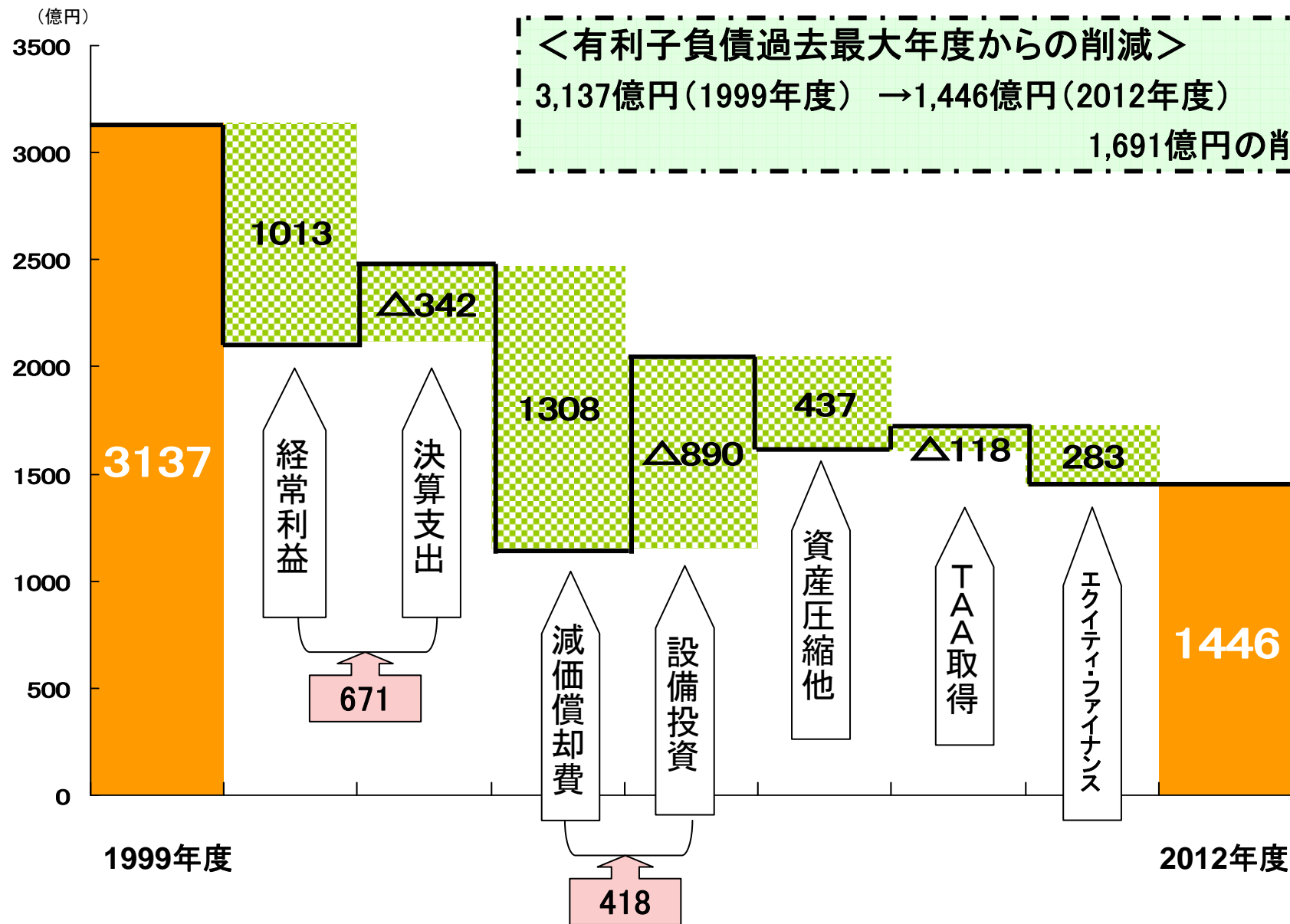


※成長戦略投資による買収に伴う利益増加

⑥ 有利子負債削減分析 - I



⑦ 有利子負債削減分析 - II



⑧ コスト構造改革

◆ 加工品事業再編

2009年10月 (新)日本アルミグループスタート
2012年7月 ナルコ岩井設立

◆ 押出素材/部材事業再編

2010年4月 住軽テクノグループスタート

◆ 伸銅事業の再編

2011年10月 住軽伸銅分社化
2012年4月 アルミセンター銅事業の
スミケイ銅管販売への譲渡

◆ 自動車熱交部材販売・加工子会社の再編

2012年4月 SKスリッピングの
SKコーポレーションへの合併

◆ 大幅な在庫削減等

⑨ 成長戦略の遂行

【海外投資】

- 北米缶材拠点 (TAA) 取得 (2011.8)
- 住軽テクノチェコ 第2期増設工事(2010.1)
- 住軽テクノタイ 生産開始(2011.4) 設備増設(2012.9)
- 住軽商昆山 板加工設備増設(2011.8)
- 上海営業拠点開設(2011.5) 、 タイ営業拠点開設(2013.4)

【国内投資】

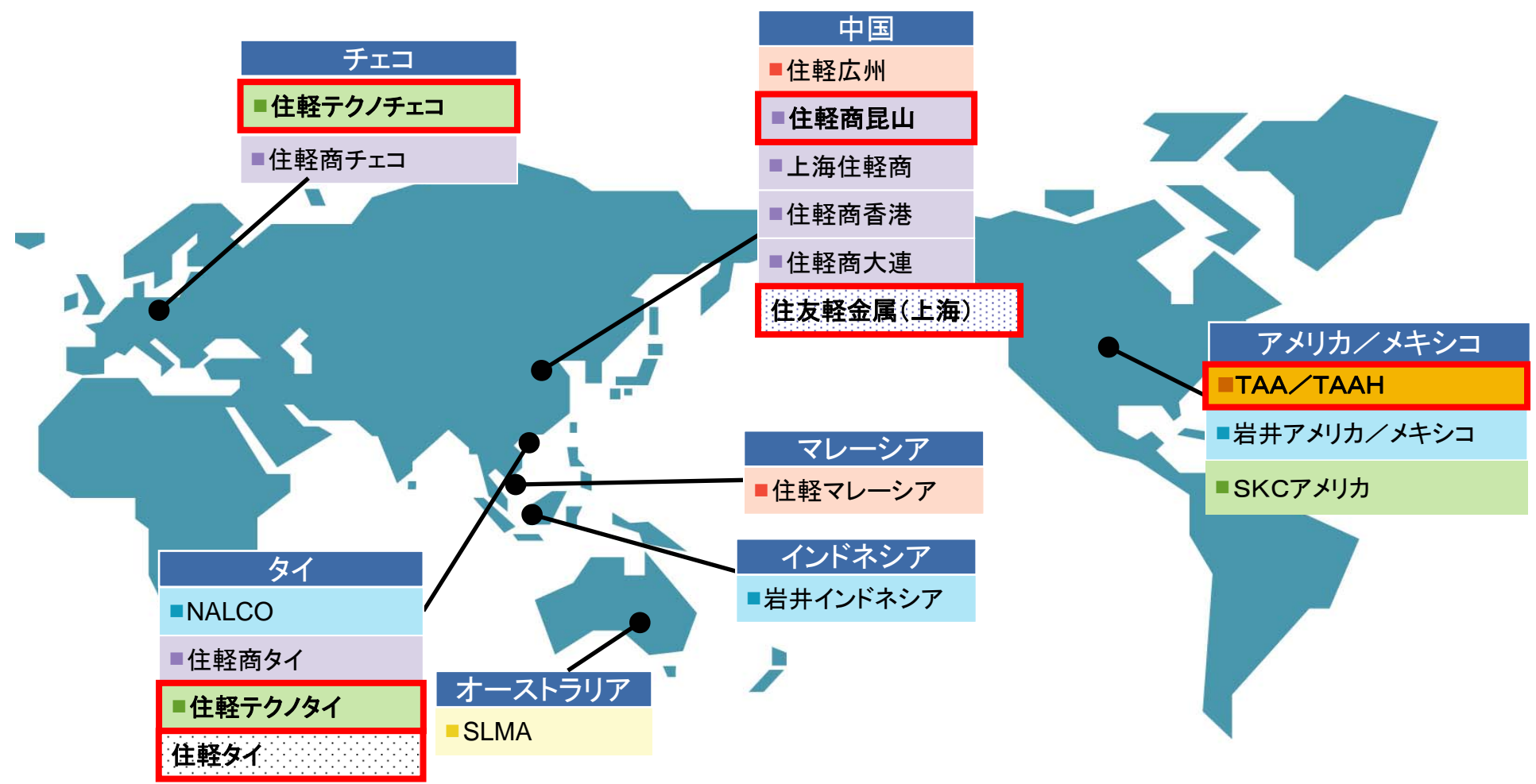
- 新冷間圧延機設置 (2010.1)
- リチウムイオン電池箔用スリッター増設(1台目2010.7/2台目2011.7)
- SKコーポレーション買収(2011.4)
- 日立電線の銅管事業撤退に伴う設備購入(2012.3)
- アルカット買収(2012.7)、アルミセンターとの合併(2013.4)

【成長分野への注力】

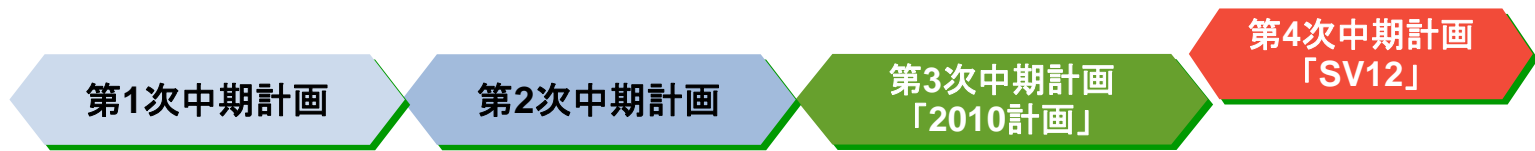
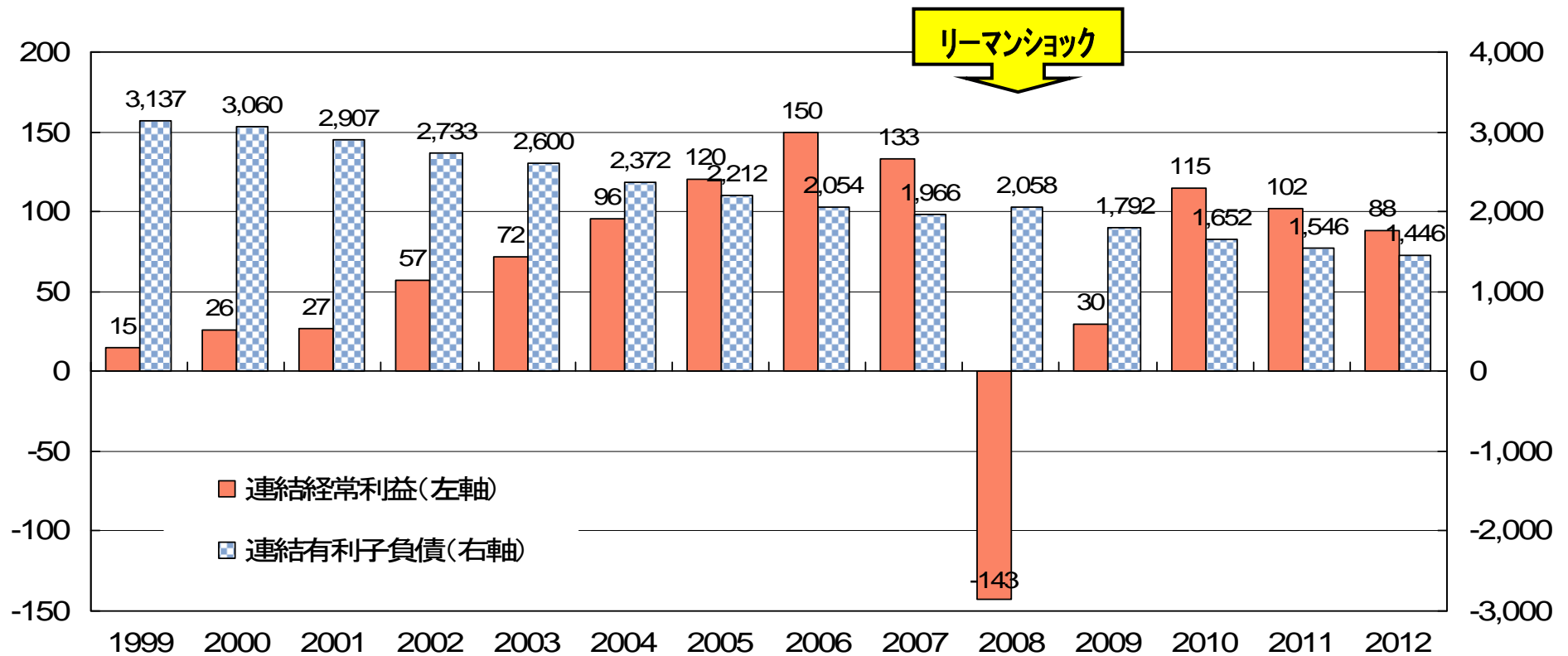
- 自動車向け素材及び加工品 (エコカー関連部材)
- IT用アルミ部材 ① リチウムイオン電池、キャパシタなど
② パソコン、タブレットPC、スマートフォン
- エアコン用オールアルミ熱交



⑩ グローバル供給体制

事業部門	■ 板部門	■ 押出部門	■ 伸銅部門
	■ 加工部門	■ 流通部門(住軽商事グループ)	■ 製錬部門



⑪ 経常利益と有利子負債






5. 古河スカイとの経営統合

① 統合の概要

《対等の精神に基づく経営統合》

■統合概要

統合新会社の商号	株式会社UACJ (英文社名:UACJ Corporation)
代表者	代表取締役会長 CEO 山内重徳 (現 住友軽金属工業社長) 代表取締役社長 CEO 岡田満 (現 古河スカイ社長)
統合新会社のロゴマーク	
統合新会社の本店所在地	東京都千代田区大手町一丁目7番2号東京サンケイビル
合併効力発生日 (統合期日)	2013年10月1日(予定)
合併比率	古河スカイ=1 住友軽金属工業=0.346 (住友軽金属工業1株に古河スカイ0.346株を割当)

② 統合の進捗状況

■ 統合の進捗状況および今後のスケジュール

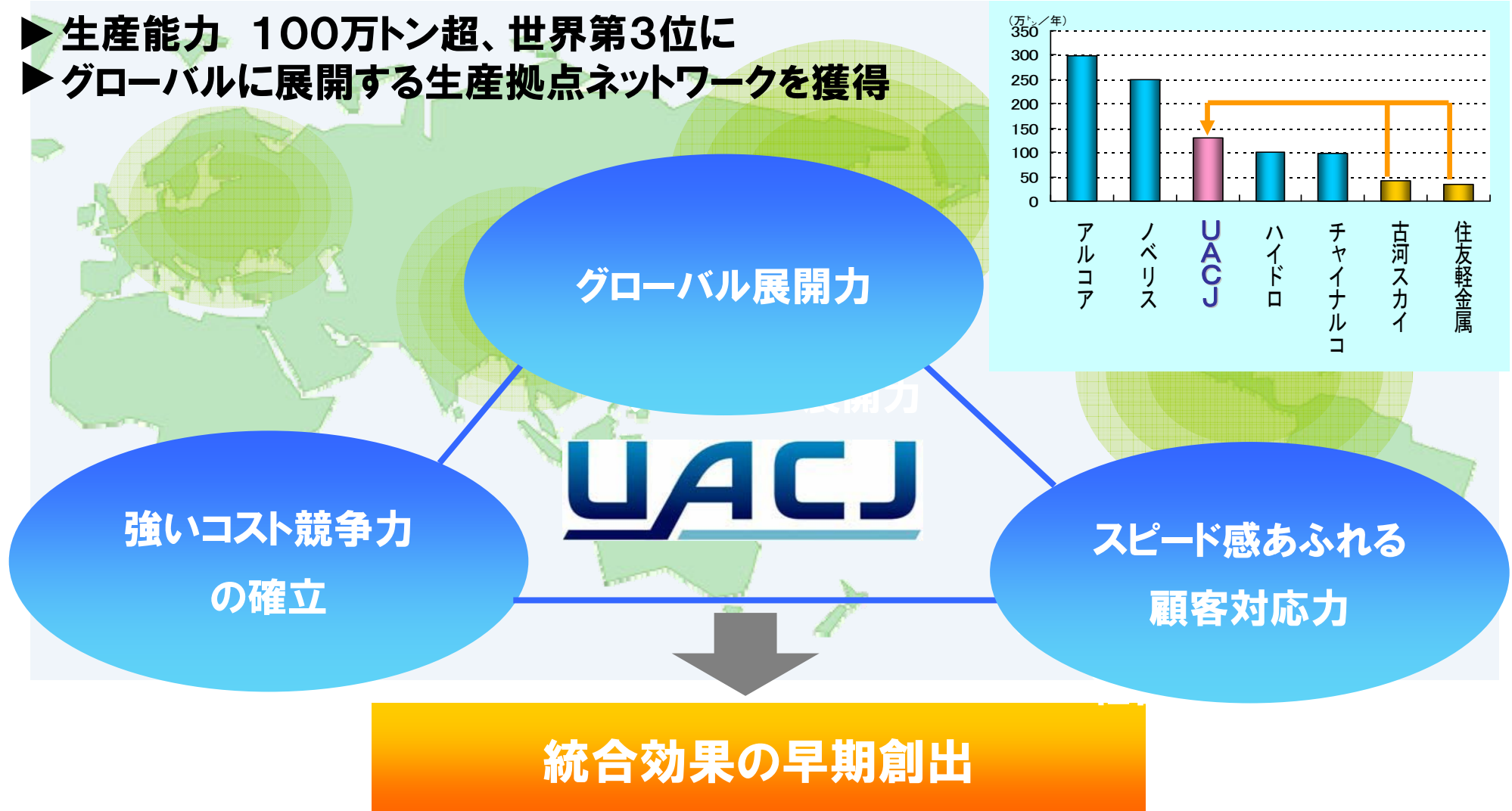
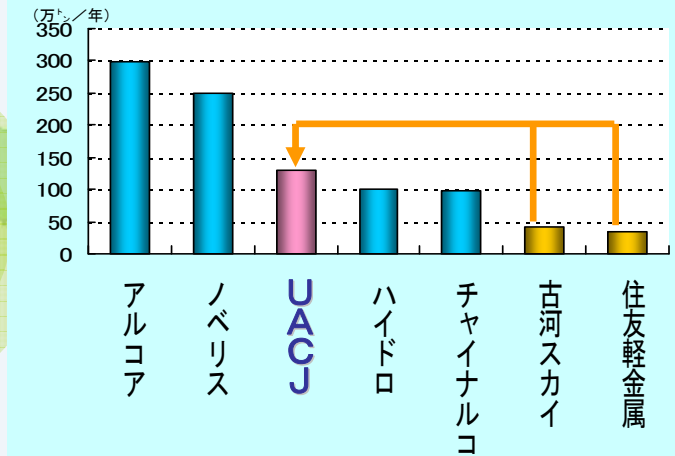
2012年8月29日	統合基本合意書の締結
2012年9月28日	公正取引委員会 第1次審査終了
2013年2月21日	公正取引委員会 第2次審査終了 (合併の認可)
2013年4月26日	合併契約締結

2013年6月	両社、定時株主総会にて合併決議(予定)
2013年10月1日	合併(予定)

③ 統合の効果

世界的な競争力を持つ「アルミ圧延メジャー会社へ」

- ▶ 生産能力 100万トン超、世界第3位に
- ▶ グローバルに展開する生産拠点ネットワークを獲得



④ 経営統合の目標

世界的な競争力を持つアルミニウムメジャー会社

企業価値の向上

新規成長分野・成長市場での積極的なグローバル展開

グローバルな
市場でも戦える
コスト競争力

技術力・開発力・
品質対応力の相乗
効果による顧客
ニーズへの対応力

最高品質の製品を
グローバルに供給
出来る体制の構築

全員参加の
現場力・改善力
(日本的な強み)

両社の全従業員・グループ会社・協力会社の総力を結集

⑤ グローバル展開 - I

加速化する経営統合後のグローバル体制＜主な供給拠点＞

■住友軽金属拠点

	日本	東南アジア	中国	欧州	アメリカ
板事業	<ul style="list-style-type: none"> ■名古屋製造所 ■住軽アルミ箔 福井工場 深谷工場 日光工場 日本製箔 	<ul style="list-style-type: none"> ■住軽タイ タイ新工場 	<ul style="list-style-type: none"> ■住軽商昆山 乳源 	<ul style="list-style-type: none"> BAL AFSEL 	<ul style="list-style-type: none"> TAA (両社関連会社から) 連結子会社へ
押出事業	<ul style="list-style-type: none"> ■住軽テクノ名古屋 ・名古屋製作所 ・安城製作所 ■住軽テクノ群馬 ■住軽テクノ恵那 小山工場 古河スカイ滋賀 	<ul style="list-style-type: none"> ■住軽テクノタイ FIA(インドネシア) 	<ul style="list-style-type: none"> FSAT (天津) 	<ul style="list-style-type: none"> ■住軽テクノチエコ 	

地域的広がりの獲得、点から面への展開、グローバル供給体制の確立

⑥ グローバル展開 - II

加速化する経営統合後のグローバル体制<主な供給拠点>

■住友軽金属拠点

	日本	東南アジア	中国	欧州	アメリカ
伸銅品事業	<ul style="list-style-type: none"> ■住軽伸銅 ■東洋フィットテック 	<ul style="list-style-type: none"> ■住軽マレーシア 	<ul style="list-style-type: none"> ■住軽広州 		
加工品事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ナルコ岩井 ・滋賀製作所 ・成田工場 ・平塚工場 ■住軽エンジニアリング ニッケイ加工 	<ul style="list-style-type: none"> ■NALCO ■岩井インドネシア 	FSWA(無錫)		<ul style="list-style-type: none"> ■岩井アメリカ /メキシコ PennTecQ
鋳鍛事業	鋳鍛工場	FSV(ベトナム)			

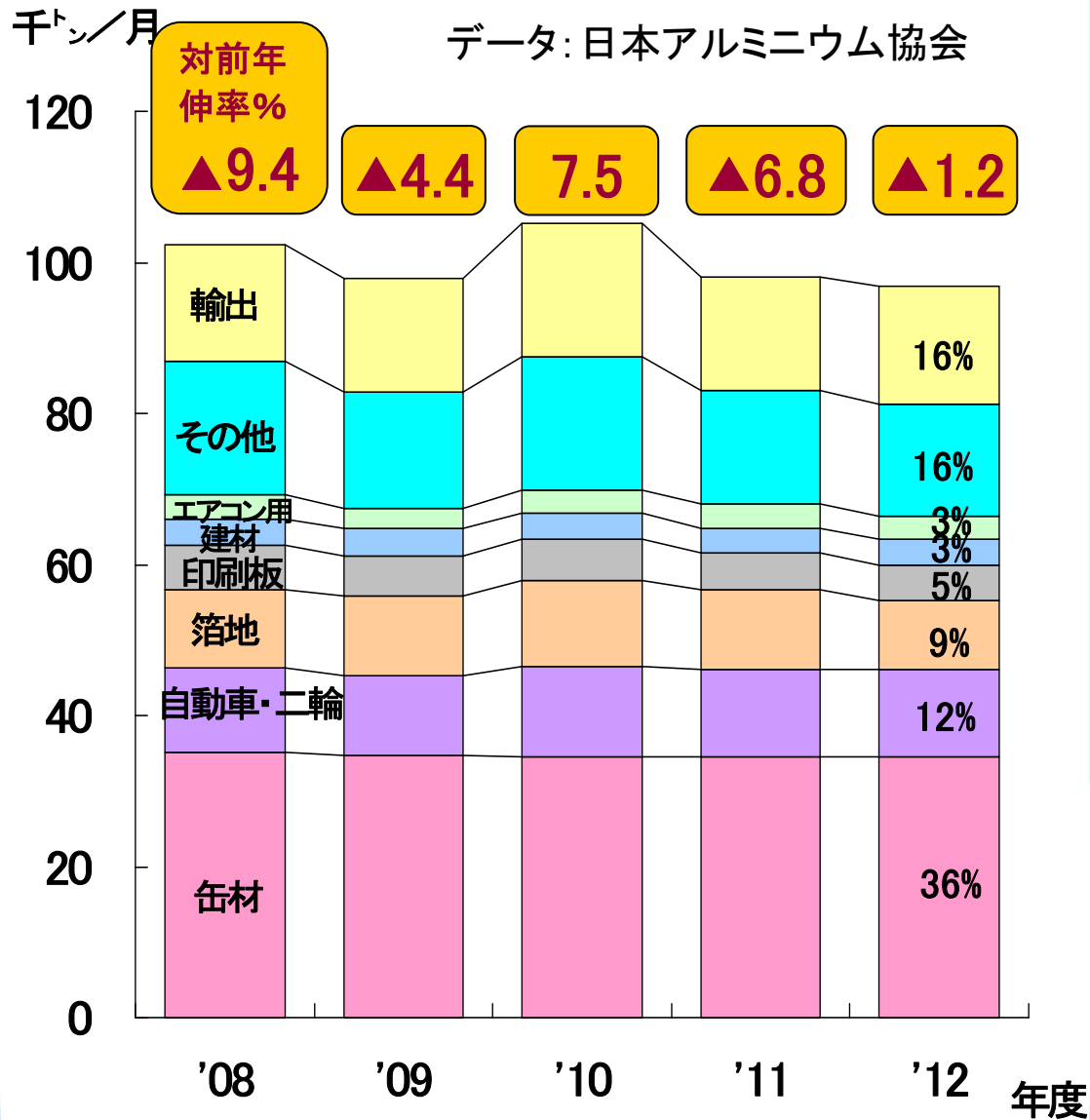
地域的広がりの獲得、点から面への展開、グローバル供給体制の確立

(参考資料)

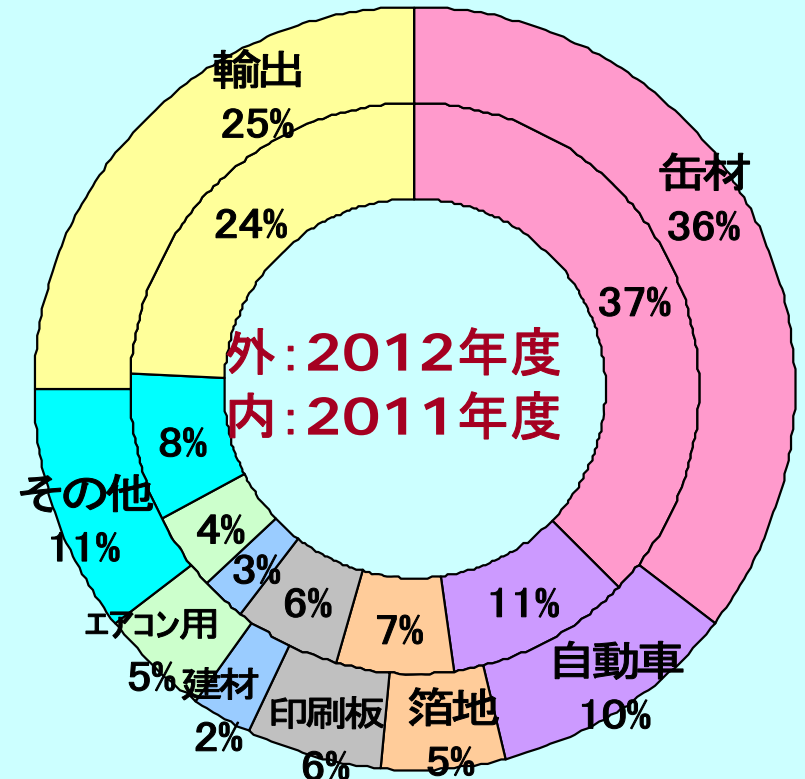
需要分野別販売概要

① アルミ板

<業界全体出荷量>

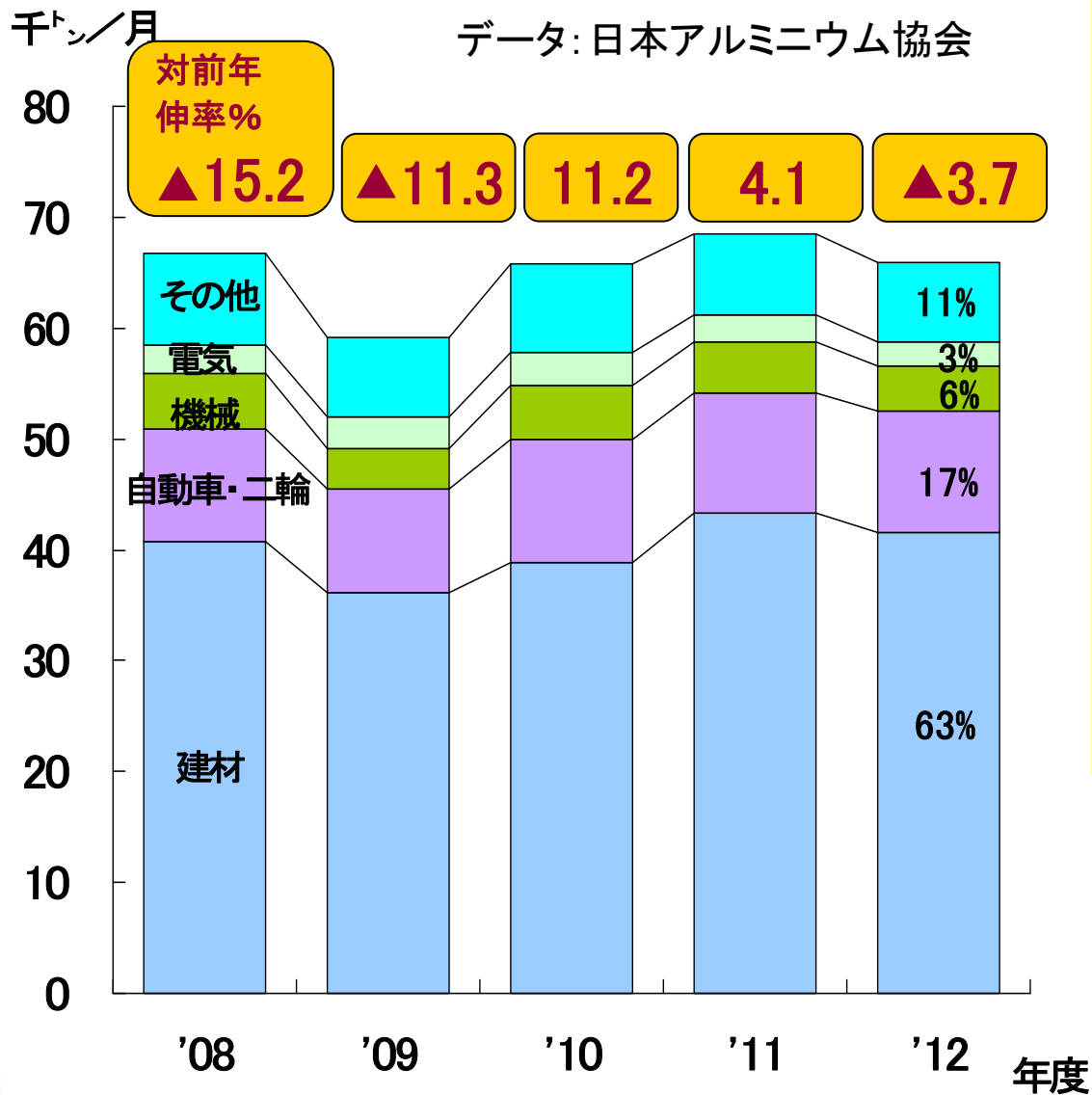


<当社販売量>

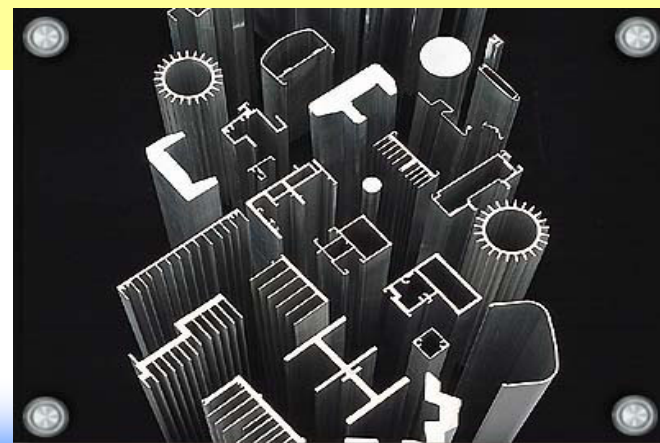
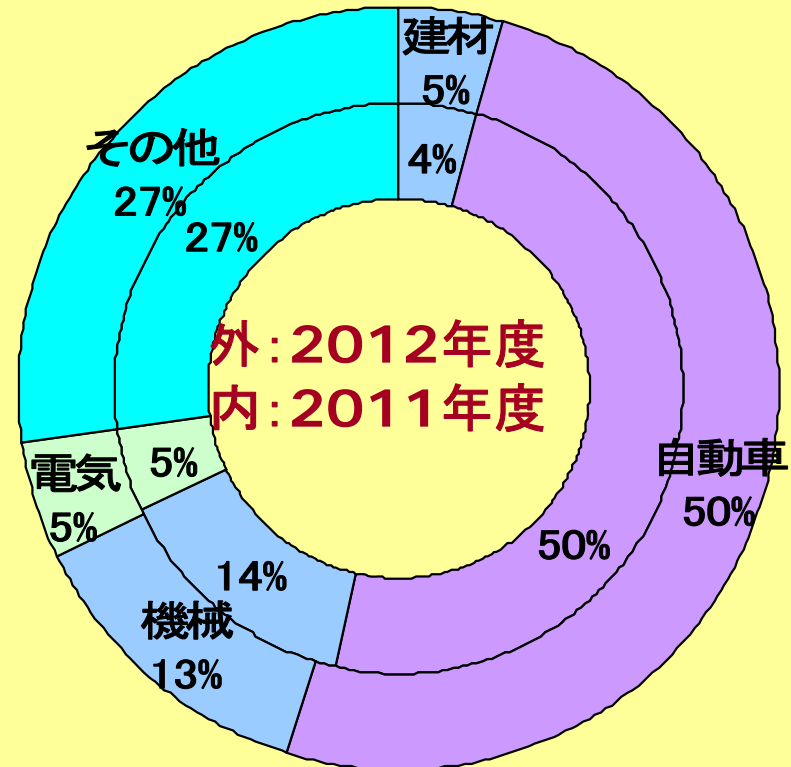


② アルミ押出

＜業界全体出荷量＞

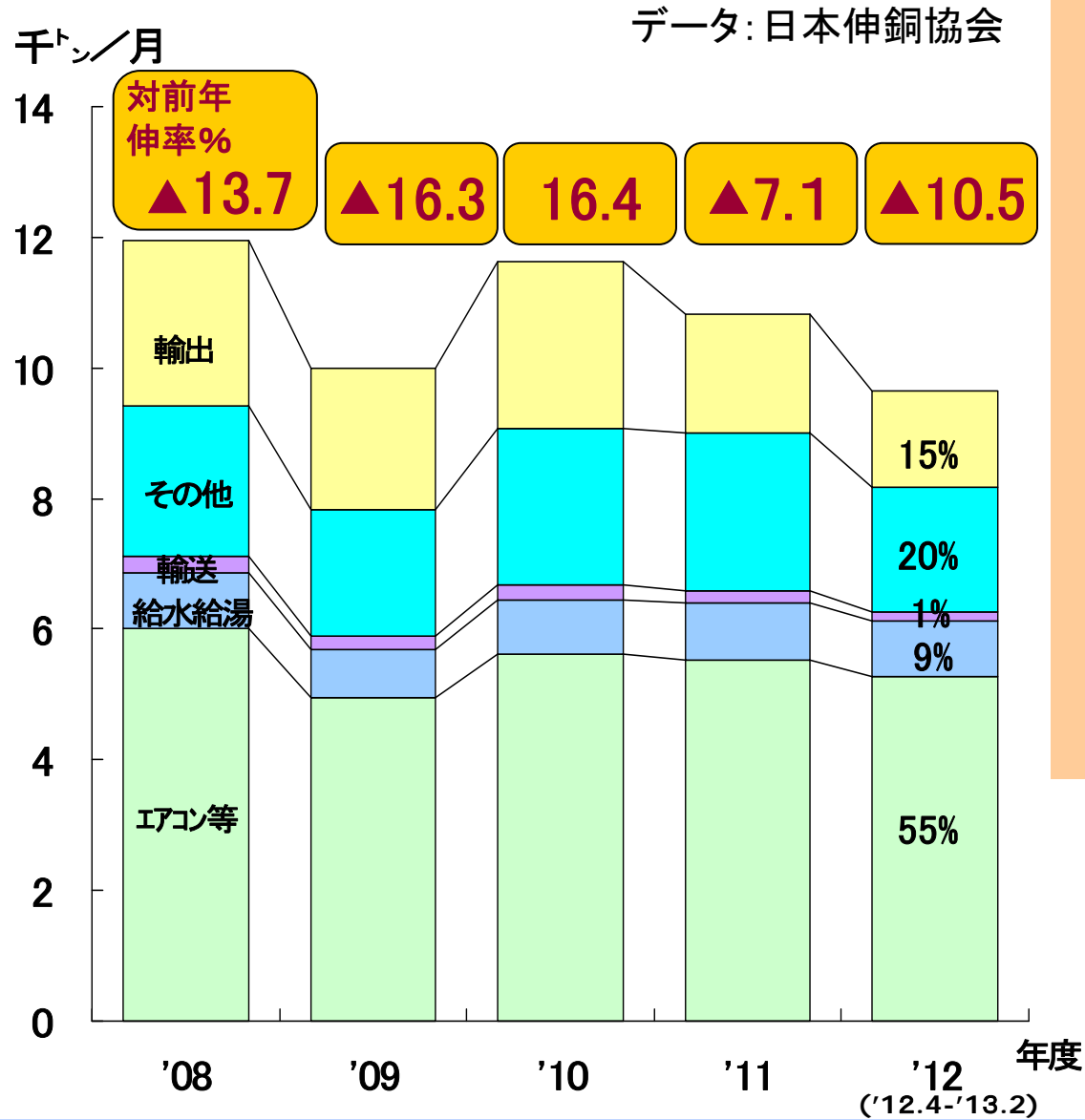


＜当社販売量＞

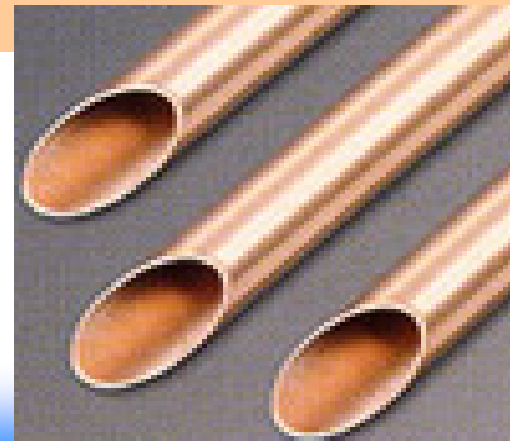
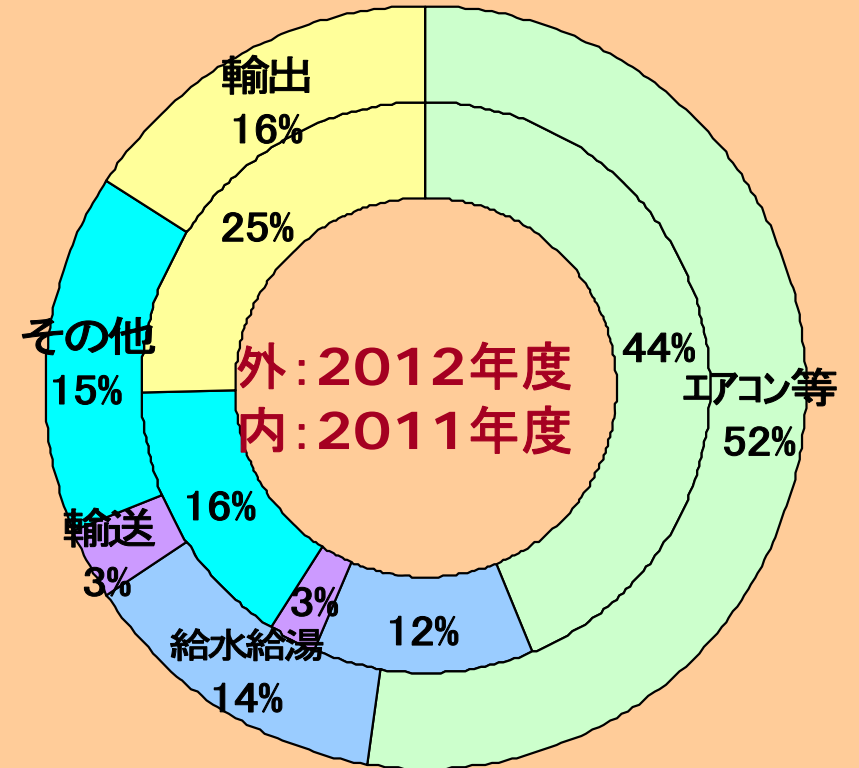


③ 銅管出荷量

<業界全体出荷量>



<当社販売量>



将来見通しに関する注意事項

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。

本資料の中には、弊社の予想・確信・期待・意向及び戦略など、将来の予測に関する内容が含まれております。これらは、弊社が説明会の時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて作成されており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまいう可能性があります。弊社は、将来予測に関する如何なる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

本資料に関する著作権・商標権その他全ての知的財産権は、当社に帰属します。